



平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 横浜冷凍株式会社
コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 俊雄

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長 (氏名) 鈴木 大介

四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日 配当支払開始予定日

TEL 045-210-0011
平成25年6月17日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	56,216	△2.2	2,290	67.8	2,399	72.1	1,483	92.8
24年9月期第2四半期	57,494	△8.0	1,365	△48.0	1,393	△47.8	769	△33.1

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 2,338百万円 (139.6%) 24年9月期第2四半期 976百万円 (△23.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	28.68	—
24年9月期第2四半期	14.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	88,446		57,459		64.5	
24年9月期	90,937		55,639		60.8	

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 57,035百万円 24年9月期 55,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年9月期	—	10.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,000	0.8	4,000	269.1	4,000	224.2	2,300	1,055.5	44.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	52,450,969 株	24年9月期	52,450,969 株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	703,150 株	24年9月期	702,775 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	51,748,046 株	24年9月期2Q	51,748,757 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、昨年暮れに樹立された新政権が打ち出した「アベノミクス」や「異次元の金融緩和」などの各政策により、金融市場が先行して反応したため、急速な円安・株高が進行しました。しかしながら、これらの政策効果が实体经济に浸透し、企業収益の本格的な回復や消費マインドの向上に反映されるには、まだ時間もかかり、また不確定な要素も含んでいるものと思われます。海外においては米国の景気回復のテンポは相変わらず緩慢であり、中国経済は減速傾向が明確化し、またヨーロッパ経済においてはユーロ圏内ガリセッションに陥るなど不透明な外部要因が多く散在しています。

このような状況のもと当社グループは、平成23年11月に発表した第四次中期経営計画（3ヵ年）の2年目を迎え、事業運営方針の柱である「コア事業の強化」と「成長力の強化」に基づき、業績の回復、向上に努めてまいりました。

冷蔵倉庫事業は東日本大震災の影響による回転率の低下や、高在庫状態が徐々に収束の方向にあり、食品販売事業は、前期主力水産物の大幅な需給悪化により、セグメント損失を計上しましたが、相場ははまだ低水準ながらも安定性を取り戻し、緩やかな回復途上にあります。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高56,216百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益2,290百万円（前年同期比67.8%増）、経常利益2,399百万円（前年同期比72.1%増）、四半期純利益1,483百万円（前年同期比92.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(冷蔵倉庫事業)

前連結会計年度より上昇基調にありました高水準の在庫率は、昨年暮れから荷動きにより、やや平準化の兆しを見せ、在庫回転率も向上してまいりました。また、「成長力の強化」の柱の一つとしてスタートしました「物流アウトソーシングサービス」は、2年目に入り、安定的な進捗をみせ、通関収入や流通加工収入が順調に増加するなど業績に寄与いたしております。

貨物取扱量の状況は急速な円安の影響及び国内在庫調整を受けた輸入貨物が減少したことにより、入庫取扱量は約4千トンの微減（前年同期比0.7%減）、出庫取扱量は約37千トンの増加（前年同期比6.6%増）となりましたが、平均保管在庫量は主要品目全てにわたって在庫増となり、約96千トンの増加（前年同期比6.7%増）となりました。

また、タイ国の連結子会社タイヨコレイ(株)においては、前期にフル稼働をしたワンノイ物流センターが引き続き順調に推移し、大幅な増収増益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績につきましては、売上高は10,749百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は2,758百万円（前年同期比15.3%増）となりました。

(食品販売事業)

前連結会計年度に大きく下落しました水産品の相場は底を打ち、緩やかな回復基調を示しました。しかし、主力商材のうち大多数の魚価はなお低水準にあるため売上高は伸びず、総体の取扱数量は10.5%の増加に転じたものの、減収増益となりました。個別商材で見ますと、前期大幅な損失を計上しました鮭鱒類やサバなどの主力商材につきましては、市況を十分に注視した取組販売を推し進めたことにより、利益面が改善されました。4年連続不漁のウナギは量販店などの需要が大きく減少したため減収減益となりました。畜産品は前期低迷したチキンの相場が回復し、またビーフも堅調な販売を行ったことにより、大幅な増収増益となりました。農産品は玉葱、馬鈴薯が産地高の影響を受けたため、売上高は前年同期を上回りましたが減益となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績につきましては、売上高は45,461百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は431百万円（前年同期は2百万円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2,491百万円減少し、88,446百万円となりました。これは主に商品が1,259百万円、有形固定資産が1,142百万円、受取手形及び売掛金が593百万円減少したことや、投資有価証券が944百万円増加したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ4,311百万円減少し、30,986百万円となりました。これは主に借入金4,293百万円減少したことや、未払法人税等が888百万円、繰延税金負債が271百万円、支払手形及び買掛金が203百万円増加したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,820百万円増加し、57,459百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」)の残高は、前連結会計年度末に比べ127百万円増加の2,827百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、6,651百万円の資金の増加(前年同四半期は4,102百万円の資金の減少)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益2,399百万円、減価償却費1,713百万円、売上債権の減少額611百万円、たな卸資産の減少額1,276百万円及び仕入債務の増加額202百万円などによる資金増加と、法人税等の支払額105百万円などの資金減少によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,536百万円の資金の減少(前年同四半期は3,520百万円の資金の減少)となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出1,883百万円などによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、4,996百万円の資金の減少(前年同四半期は7,026百万円の資金の増加)となり、その主な内容は金融機関からの借入の純減額4,387百万円及び配当金の支払額517百万円などによる資金減少によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

「平成24年9月期決算短信」(平成24年11月14日付)で公表いたしました平成25年9月期の通期連結業績予想につきましては、以下のとおり修正いたしました。

売上高112,000百万円、営業利益4,000百万円、経常利益4,000百万円、当期純利益2,300百万円

なお、詳細につきましては、平成25年5月7日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,700	2,827
受取手形及び売掛金	14,402	13,808
商品	14,003	12,744
繰延税金資産	441	520
その他	985	437
貸倒引当金	△26	△25
流動資産合計	32,507	30,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,243	25,443
機械装置及び運搬具(純額)	4,912	4,657
土地	19,382	19,079
リース資産(純額)	212	203
建設仮勘定	8	261
その他(純額)	366	336
有形固定資産合計	51,125	49,982
無形固定資産		
のれん	848	772
その他	1,630	1,630
無形固定資産合計	2,479	2,402
投資その他の資産		
投資有価証券	3,616	4,561
長期貸付金	71	97
その他	1,190	1,145
貸倒引当金	△53	△56
投資その他の資産合計	4,825	5,747
固定資産合計	58,430	58,133
資産合計	90,937	88,446

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,314	5,518
短期借入金	10,509	5,147
1年内返済予定の長期借入金	2,211	2,468
1年内償還予定の社債	47	—
リース債務	69	75
未払法人税等	191	1,079
賞与引当金	619	464
役員賞与引当金	27	13
その他	3,802	2,616
流動負債合計	22,793	17,383
固定負債		
長期借入金	11,242	12,054
リース債務	153	137
繰延税金負債	23	295
退職給付引当金	605	628
役員退職慰労引当金	302	308
資産除去債務	105	105
その他	72	73
固定負債合計	12,504	13,602
負債合計	35,297	30,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,065	11,065
資本剰余金	11,109	11,109
利益剰余金	34,061	35,028
自己株式	△520	△520
株主資本合計	55,716	56,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△214	434
繰延ヘッジ損益	△28	37
為替換算調整勘定	△197	△119
その他の包括利益累計額合計	△439	352
少数株主持分	362	424
純資産合計	55,639	57,459
負債純資産合計	90,937	88,446

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	57,494	56,216
売上原価	52,500	50,489
売上総利益	4,994	5,727
販売費及び一般管理費	3,629	3,436
営業利益	1,365	2,290
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	31	33
保険配当金	28	29
固定資産売却益	1	43
その他	164	176
営業外収益合計	235	292
営業外費用		
支払利息	145	125
固定資産除売却損	28	35
その他	31	22
営業外費用合計	206	183
経常利益	1,393	2,399
特別利益		
過年度固定資産税還付金	84	—
特別利益合計	84	—
税金等調整前四半期純利益	1,477	2,399
法人税、住民税及び事業税	706	1,022
法人税等調整額	△5	△140
法人税等合計	701	881
少数株主損益調整前四半期純利益	776	1,517
少数株主利益	6	33
四半期純利益	769	1,483

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	776	1,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	648
繰延ヘッジ損益	220	65
為替換算調整勘定	△51	106
その他の包括利益合計	199	821
四半期包括利益	976	2,338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	979	2,276
少数株主に係る四半期包括利益	△3	62

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,477	2,399
減価償却費	1,721	1,713
のれん償却額	76	76
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△153	△155
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15	△13
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	35	22
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△28	5
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11	2
受取利息及び受取配当金	△41	△43
支払利息及び社債利息	145	125
売上債権の増減額 (△は増加)	1,515	611
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,098	1,276
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,013	202
未払費用の増減額 (△は減少)	273	△30
その他	△255	647
小計	△3,370	6,839
利息及び配当金の受取額	40	43
利息の支払額	△143	△126
法人税等の支払額	△629	△105
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,102	6,651
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,008	△1,883
有形固定資産の売却による収入	1	415
投資有価証券の取得による支出	△99	△2
貸付けによる支出	△295	△102
貸付金の回収による収入	28	76
その他	△147	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,520	△1,536
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,714	△5,456
長期借入れによる収入	1,000	2,283
長期借入金の返済による支出	△1,061	△1,214
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△517	△517
社債の償還による支出	△70	△47
少数株主への配当金の支払額	△2	—
その他	△36	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,026	△4,996
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△603	127
現金及び現金同等物の期首残高	4,563	2,700
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,959	2,827

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,083	47,405	5	57,494	-	57,494
セグメント間の内部売上高 又は振替高	895	-	24	920	△920	-
計	10,978	47,405	30	58,414	△920	57,494
セグメント利益	2,392	2	7	2,402	△1,037	1,365

(注) 1.セグメント利益の調整額△1,037百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,749	45,461	5	56,216	-	56,216
セグメント間の内部売上高 又は振替高	794	-	22	816	△816	-
計	11,543	45,461	28	57,032	△816	56,216
セグメント利益	2,758	431	7	3,196	△906	2,290

(注) 1.セグメント利益の調整額△906百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。